

第302回審査会合（2019.9.18）および第2回現地調査（2019.10.3,4）でのコメント内容

		No.	コメント内容
第302回審査会合（出戸西方断層）	北端	1	資料 1-1 P39：安山岩溶岩（塊状部）、安山岩溶岩（多孔質部）および火山角礫岩の露頭写真について、岩石をそのまま撮影した写真ではわかりにくいいため、ハンマーで割った上で、岩石の内部が見える写真を示すこと。
		2	段丘面区分について、海成層と河成層の違いの判断根拠があれば示すこと。
	南端	3	砂子又層上部層と砂子又層下部層を識別した根拠について、資料を充実すること。
		4	資料 1-2 P17：⑯測線の地質断面図について、向斜構造の根拠となるボーリングデータ等を資料に記載すること。また、ボーリングデータ等に基づく解釈について整理すること。
		5	資料 1-1 P273、276：出戸西方断層南方の地質図について、鷹架層上部層が砂子又層上部層に変更されているため、変更に至ったデータを示すこと。また、資料上に掲載している図面は整合をとること。
		6	資料 1-2 P17：⑰測線の地質断面図について、最新版に更新されていないため、反映すること。
		7	資料 1-2 P17：出戸西方断層南方の向斜構造について、向斜軸を挟んで西側と東側で非対称な特徴を示すことを資料に記載すること。
第2回現地調査（出戸西方断層・火山）	出戸西方断層 北端	1	資料 3 P11：NKN 測線の地質断面図を見ると、M1 面よりも M3 面に古い堆積物が堆積しているため、段丘面と地層との新旧関係について、整理すること。
		2	出戸西方断層北端の調査結果の説明時に使用した、赤色立体地図を審査会合資料に掲載すること。
		3	資料 3 P2、11：大規模崩壊の堆積物であることがわかるように地質断面図に反映すること。また、NKN 測線の地質断面図の M1 面から M3 面の区間の堆積物において、md3 と To-Rd の分布の連続性について、整理すること。
		4	資料 3 P11：NKN 測線において、大規模崩壊により地形がほぼ上書きされているが、M1 面として認定してよいか検討すること。
		5	ボーリング孔の安山岩溶岩について、玄武岩の可能性のあることから、再度確認すること。
		6	MK 測線の安山岩溶岩について、コアの全区間における CT 画像を資料に掲載すること。
		7	中山崎の崩壊地形周辺において、空中写真を見ると急傾斜があるように見えるため、分析を行うこと。

		No.	コメント内容
第2回現地調査 (出戸西方断層・火山)	出戸西方断層 南端	8	資料4 P21: Tkh 露頭～露頭1にかけて、砂子又層上部層と砂子又下部層の分布の連続性について、露頭調査を行い検討すること。
		9	資料4 P21: 砂子又層上部層と砂子又層下部層の内部構造がわかるように、地質断面図に示すこと。
		10	向斜構造に直交する地質断面図を作成すること。また、作成の際には、露頭情報等を用いること。
		11	資料5 P1: 渡辺論文の写真に相当する事業者の写真を並べて掲載し、見解を述べること。
		12	資料5 P17: ⑩測線の海 No. 5 孔等のボーリング柱状図やコア写真についても資料に掲載すること。
		13	砂子又層上部層と砂子又層下部層の境界と識別した根拠について、資料を充実すること。また、砂子又層上部層と中位段丘堆積層の境界についても、同様に整理し、資料を充実すること。
	火山	14	甲地軽石を確認したボーリングについて、各柱状図の標高を合せて並べた資料を作成すること。
		15	甲地軽石に関連するボーリングコアについて、帯磁率を計って資料に掲載すること。
		16	甲地軽石の見た目が場所によって違うため、理由を記載すること。